

えひめ水産イノベーション地域だより

発行：公益財団法人えひめ産業振興財団
えひめ水産イノベーション創出地域
TEL 089-960-1153 FAX 089-960-1105
E-mail : sakamoto@ehime-iinet.or.jp

第16号 平成26年4月2日発行

4月です、桜咲き、春真っ只中。

松山气象台は3月29日に桜の満開を確認。桜前線は現在、日本列島を北上中。桜前線は日本各地の主にソメイヨシノの開花予想日を結んだ線のこと、マスメディアによる造語であって、気象庁の公式用語ではないそうです。気象庁では、「桜の開花予想の等期日線図」と言っていたそうです。いかにも、お役所らしい堅い表現。

気象庁による桜の開花予想の発表は、昭和26年に開始され、近年、民間の気象事業者が開花予想を行うようになったことから民間事業者に任せるとの理由で、平成22年より開花予想の発表を取り止めたとのこと。開花予想は止めても、生物季節観測の一環として、桜の開花と満開の確認は今も行っているそうです。

えひめ水産イノベーション戦略支援プログラムも事業開始して3年目。この事業の研究成果が早く民間事業者に技術移転できるよう取り組みますので、引き続きご支援・ご協力よろしくをお願いします。

推進協議会の開催

去る3月25日、松山市のテクノプラザ愛媛特別会議室において「平成25年度えひめ水産イノベーション創出推進協議会」を開催しました。

協議会においては、26年度から新たに副会長に愛媛県水産局長が就任し、副会長2名体制とし事業の推進を強化することが決定されました。また、25年度の活動実績を年度報告書に取りまとめて報告するとともに、26年度の活動計画をまとめた年度計画書等について協議し、戦略支援プログラムの今後の取り組みの方向性等が決定されました。承認された年度報告書、年度計画書については、文部科学省に提出することの了解を得ました。



推進協議会の会議の様子

人材育成講座について

宇和海の水産業の6次産業化を担う人材の育成を目指した《水産イノベーションスキル修得講座》の第11回の講座が3月8日・9日に宇和島市(愛媛大学宇和島エクステンション)で開催されました。

今回の講座は25年度の最終回。受講生各自が1年間取り組んできたプロジェクト研究の発表がありました。第1期の受講生は、南予地域の漁業者、水産関連企業、金融機関や行政機関の職員を主体に27名で、リーダー育成、地域振興、食品加工、商品開発、流通経済等の広い水産分野の講座を年間126時間(毎月1回土日の2日間)履修し、一定の要件を満たした22名に「愛媛大学水産イノベーター」の称号が授与されました。

第1期の受講生の皆様には、6次産業化による宇和海の水産業の活性化のため地域のリーダーとして、今後、一層の御活躍を期待申し上げます。



履修証明書の授与

履修証明書

×切まで、あと5日。まだ、間に合います！ 《26年度人材育成講座受講者2次募集》

宇和海における水産業の6次産業化を担う人材育成を目指して、平成26年4月～翌年3月の間、月1回(土日開催)《水産イノベーションスキル修得講座》を開設します。

受講生の募集期間は4月7日までです。定員は10名程度で、対象者は、漁業者、漁協・水産関連企業の職員等で、応募者を対象に、4月10日、宇和島市において、プレゼンテーションと面接を行い、受講者を決定します。

なお、年間受講料として12,000円が必要です。

お問合せ先：愛媛大学社会連携推進機構
水産イノベーションスキル修得講座係
☎089-927-8827 担当：河野・原田